

恒例の春のバス旅行、今回は、銚子から犬吠崎灯台、そして神武天皇創建の鹿島神宮までの旅でした。
絶好の好天に恵まれ、太平洋の大海原を展望し、醤油工場の見学、酒造工場で樽酒も楽しむことができました。

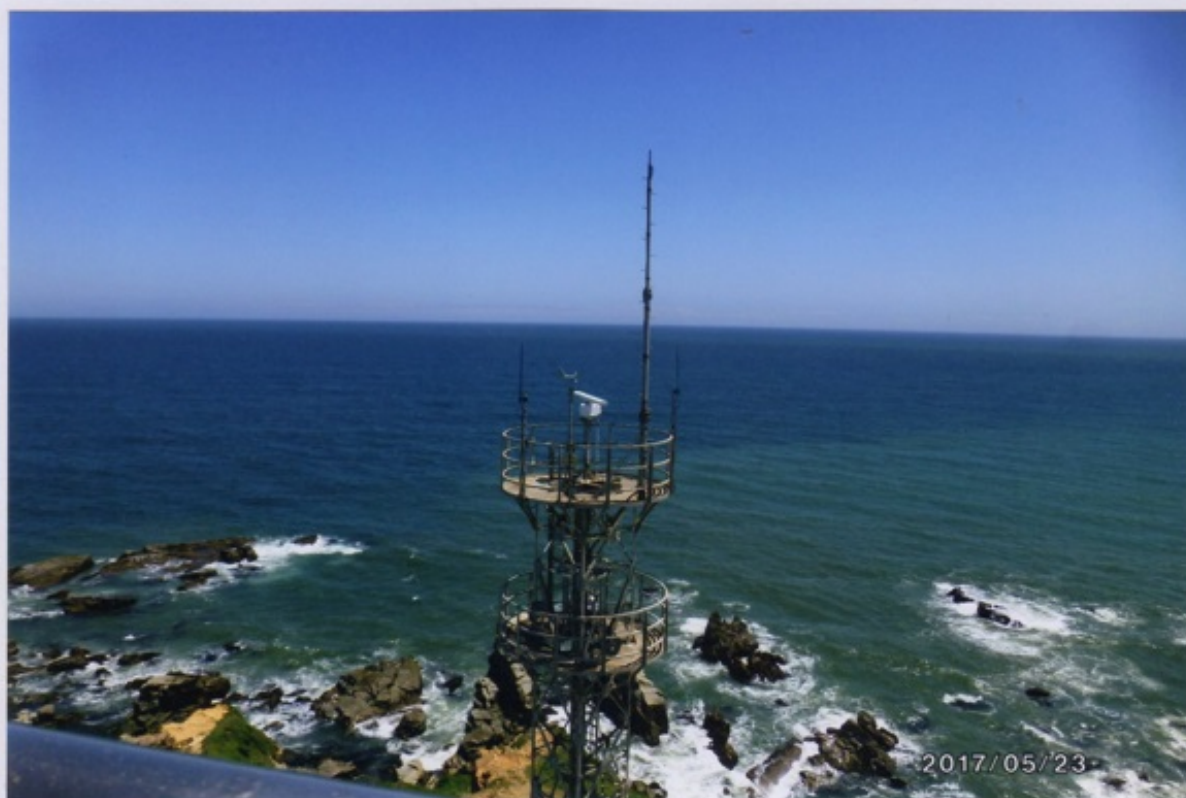
《旅行日》 平成29年5月23日（火）



《犬吠崎灯台》

雲ひとつない青空の中に、目指す白亜の灯台が美しい。

このあと、灯台の中の狭くて急な階段を、皆さん一列になって登りました。



《灯台の高い展望台から太平洋を》

本州の最東端に位置する犬吠崎、この位置からは、地球が丸いことを実感できるといわれ、広大な太平洋の景色が素晴らしかった。この先にサンフランシスコが・・見えた??。



《鹿島港を中心に広がる鹿島臨海工業地帯》

茨城県の東南端に造られた、世界有数の掘込み式人工港湾、そこに昭和30年代から誘致され、集積された、製鉄所、発電所、石油化学工業などの一大工業地帯です。
その中の港公園には、高さ52メートルの展望塔がそびえ、エレベーターで昇りました。



《展望塔から鹿島港臨海工業地帯を展望する》

30名が限度の展望室で、現役時代にこの地の業務に関わってこられた S氏
(生涯学習西柴の世話役の一人・・・写真中央の方)の詳しい解説がありました。



《鹿島神宮本殿前で》

参加の御一行さま。

鹿島神宮は茨城県南東部、北浦と鹿島灘に挟まれた鹿島台地上に鎮座しています。祭神は日本神話で、大国主命の国譲りの際に活躍する、武甕槌神（タケミカヅチ）。大相撲の新横綱「稀勢の里」が先日（6月4日）奉納土俵入りをしたところです。鹿島は、現在サッカーの強豪、「鹿島アントラーズ」の本拠地です。



《愛友酒造の見学》

江戸時代に、水郷潮来で創業された当社は、213年の歴史があり、見学の後飲み放題で頂いた樽酒は、なんともいえぬ芳醇な味で、お土産に買い込む方も沢山おられました。

そのほか、銚子の醤油工場見学では、「醤油ソフトクリームや」、「ぬれせんべい」が人気。銚子港での昼食は、さすが漁港、生きのいいお刺身や、赤魚尾頭の煮魚をいただき、盛り沢山の旅を楽しんで、予定時刻の午後7時半きっかりに、西柴へ帰着しました。

（おわり）